

この町は あなたが住む町 つくる町 神川町議会

かみかわ町議会だより



「在り、御霊様。地域の安穩、五穀豊穰を願う」中新里 御霊神社
(撮影者「フォーカス友の会」赤石千三百さん)

平成22年度神川町一般会計予算・特別会計等当初予算の可決

神川町子ども医療費支給に関する条例を可決

第 18 号

平成22年6月1日発行

編集 神川町議会運営委員会
発行 埼玉県児玉郡神川町議会

〒367-0292 児玉郡神川町大字植竹909
☎0495(77)0707 <http://www.town.kamikawa.saitama.jp>

定例会のあらまし

平成22年第1回神川町議会定例会は3月4日から12日までの9日間の会期で開かれ、町政に対する一般質問が行われたほか、町長から提案された平成22年度予算案や条例改正など39件、議員提案で1件の案件が審議されました。

町政に対する一般質問

一般質問は、3月4日に行われ、4名の議員が町長をはじめ町当局の考えを質問しました。
概要は、次のとおりです。



森 勇 議員

行政改革について

- (1) 行政改革について、次の点を伺う。
事業仕分け委員会の仕分け人はどのようにして選ぶのか、また、マニフェストの中で、平成22年度当初予算に計上されたものがあるのか、当初予算でどの程度の仕分け効果があったのか、今後どのような仕分けを考えているのか伺う。
- (2) 特別職の退職金廃止も実施するようですが、各種団体への補助金の削減あるいは職員、特別職給与、議員報酬の削減や公共料金の値上げ等まで考えているのか伺う。

- (3) 町の事業は半減していますが、職員数は余り減っていません。職員数の適正化、人件費の削減をどのように考えているのか伺う。
- (4) コミュニティバスの運行について、町長は「民間活力、資金を活用し、町内全域を対象としたバスの運行を行い、玄関から玄関までを基本とした交通弱者と言われる子供、老人、障害者の足の確保を実施する」と言われましたが、どのような方法で実施するのか、町長の考えを伺う。

答え 町長

- (1) 事業仕分け委員会は、行政側、民間の有識者、住民の方で組織し、予算等を再検討します。また、平成22年度予算には、子育て支援対策として医療費無料化を中学生まで引き上げる予算を計上しました。今後も事業の再検討を行い、人件費も含めて厳しい目を持ち削減に努めていきます。
- (2) 特別職の退職金につきましては、市町村総合事務組合で扱っており、町独自ではできないという指摘をされました。団体に対する各種補助金は、自立のまちづくりという中で自分たちのことは自分たちで努力していただきたいという気持ちを持っています。
- (3) 組織を見直し、職員数の削減に努めていきたいと思えます。職員にも厳しい覚悟で臨んでいただき、今後も適正な人員配置ができるよう努めていきたいと思っています。
- (4) 町営バス及び民間路線バス以外

の地域では、公共交通がなく、高齢化が進む今日、移動手段を持ち得ない住民は不便を来しています。今後は高齢者、障害者の方など移動手段として公共交通の確保は極めて重要な問題であると考え、地域ボランティアやNPO、民間事業者等を加えた新たな形態の公共交通を模索し、公共交通網の整備を検討してまいりたいと考えています。



民間路線バス及び町営バス（神泉総合支所前にて）

町の将来について

町長は小さくても輝ける自立の町を訴えています。この言葉は、本庄市を中心とした児玉郡市の合併について、反対なのですか、それとも賛成なのですか、また、神川町の将来を思うとき、児玉郡市の合併は避けて通れないと考えていますが、平成26年から平成27年には、児玉郡市内において市長、町長、議会議員の任期になりますので、児玉郡市が1つになる大きな節目の年であるうと思っております。この年に向けて法定協議会等を設立し、合併の準備を進めるべきと考えていますが、町長の考えを伺う。

答え 町長

本町におきましても新たな枠組みの中で総合計画を初めとした各種計画を策定し、地域住民との協働による地域振興に全力を傾け、小さくても輝ける自立の町を目指

し行政運営に努めているところで

す。広域合併につきましても、今後も町民の皆様のご意見に真摯に耳を傾け、関係市町の動向を注視し、将来のまちづくりの可能性や必要性について検討してまいりたいと思っております。



町田 久 議員

町政運営の基本姿勢について

町長は経費節減ということを特に強調していますが、これから神川町のかじ取りをどのような考え方で町政運営を行っていくのか、具体的に考え方を伺う。次に町長のブログについてですが、内容がひど過ぎます。他人の誹謗中傷に終始しています。内容を考えるべきだと思いますが、町長の考えを伺う。

答え 町長

小さくても輝ける町を目指し、町民の皆さんの視点に立った行政改革、生活者重視の行政運営に心がけていきたいと考えています。その一環として、町民の皆様と一緒になった官民協働のまちづくり、町民の皆様の意見を大切にする政治、町民の皆様の知恵と行動力が

マニフェストについて

町長及び特別職の退職金廃止については埼玉県市町村総合事務組合に加盟しており、町単独で条例を変更することはできないと聞いています。次に、重要課題として保育ママ制度の支援や認定こども園の支援を行うと言われていますが、町内には青柳、丹荘保育所、渡瀬保育園、そして神川幼稚園があります。これらの施設を総合的に統合し、認定こども園に移行する考えだと思えます。本町に町の乳幼児や子供の将来を基本的に進めることだと存じます。次に児童館の設置の推進についてですが、子育て支援の一環として設置が必要であると思えます。具体的にどのような内容で児童館を建設するのか伺う。

答え 町長

退職金の廃止条例についてですが、本町は埼玉県市町村総合事務組合に加入しており、本町だけでなく、他の市町村等にも多大な影響を及ぼすことになり、困難であ

生かせる施策を私の基本3原則とし、行政情報を広く町民に発信し、町民との情報の共有化を図り、町民が行政運営に参画できる環境を整え、行政運営が図れるようリーダーシップをとっていきたいと考えています。私のブログについてですが、引き続き私自身の考えや感想をお知らせし、町政にご協力いただけるようブログの公開を続けていきたいと考えています。

るということを認識しました。次に認定こども園の支援については、職員管理や教育と保育の理念に課題もありますので、行政改革や事業仕分けを進める中で保護者の要望や国の施策に対応し、検討してまいりたいと考えています。次に、児童館設置の推進につい

ては、町内の公共施設を活用し、地域の手づくりにより運営できる

児童館を検討してまいりたいと考えています。

中学生までの医療費無料化について

中学生までの医療費無料化の実施時期について、また、財源をどのように確保されたのか、伺う。次に、群馬県での医療費支払いは、医療機関での窓口支払いとなっていますが、これを改善していただきたい。

答え 町長

実施時期については、準備期間を踏まえて平成22年度の早期に実施し、入院及び通院にかかる医療費自己負担分を支給したいと考えています。

次に、財源確保については、非常に厳しいものがあり、今まで以上に徹底した行政改革の推進と経費削減に加え、事業仕分けを行い、自立したまちづくりによる財源を

確保しなければなりません。群馬県での医療費窓口払いの調整につきましては、担当課長より説明させます。

答え 町民福祉課長

群馬県医師会との調整は、自治体での調整は難しいと考えています。なお、現在一部の公共医療機関では、窓口支払い後の請求手続きを代行する方法で利便性を図っていますのでご理解ください。

ふるさと納税制度の推進について

神川町から町外に転出をした方や町民に協力を呼びかけ、更に財源確保を進めることが必要だと思えます。

また、ふるさと納税の現状について報告をいただくとともに、この制度を活用した町おこしをぜひ進めていただきたいと思います。考え方を伺う。

答え 町長

ホームページや広報紙への掲載を通して寄附を募り、また、職員を含め町外在住者への普及啓発等と呼びかけてまいりました。今後、も町ホームページ等を利用して、寄附を募っていききたいと考えています。次に、ふるさと納税制度の寄

次世代育成支援後期5カ年行動計画について

行動計画の素案は人権保育の推進について全く触れられていません。また、子育て支援の考え方、食育の推進について具体的に食物アレルギーの児童生徒に対する学校給食の対応をどのように検討されているのか、パブリックコメントの状況についても併せて伺う。

答え 町長

行動計画は、平成20年3月に策定した総合計画や母子保健計画に基づいて策定しています。計画では、子育て世代の多様化するニーズを把握して、子育て支援事業を充実させる安心の子育て支援を掲げて検討してまいりたいと考えています。主なものとして、15歳まで

附の状況ですが、平成20年は13件、平成21年は8件の寄附をいただいています。

次に、ふるさと納税制度を活用した町おこしについては、今後もより多くの方から本町のまちづくりについてご理解をいただき、参画してもらえよう、寄附がしやすい仕組みづくりについて工夫をしてまいりたいと考えています。

の医療費の無料化、幼保連携型の認定こども園、児童館の設置、子育て支援センターの充実を図りながら、子育て支援となるよう検討してまいります。

次に、食育の推進については、学校栄養職員による食に関する学習指導や食物アレルギーに対応した学校給食を推進するとともに、保育所や小中学校保護者をはじめ、教職員から関係各課の連携が大変重要だと考えています。

食物アレルギーを有する

児童生徒の対策について

保護者の代表により自主的なネットワークづくりが進むことになりましたが、町としてどのような支援をされるのか、また、保育所、幼稚園、小中学校の保育士、教職員の研修計画について、どのような対策を進めているのか伺う。

答え 町長

保護者のネットワークづくりの支援については、保健センターを中心に検討を重ね、実施に向けた

調整を行っているところです。教職員研修計画については、食物アレルギーに関する知識の啓発を行うとともに、保護者のご意見をいただながらそれらに対応した研修の実施計画を策定してまいります。

差別ハガキ事件の

町としての対策について

私と3年前に亡くなった父親のところにはがきが届きました。内容は、同和地区の出身だということで、差別表現をしたものでした。一部の心ない人が、こういったはがきを出したのだと思いますが、この差別はがきの受けとめ方、今後の対策について町長の考えを伺う。

答え 町長

人権問題という位置づけのもとで、同和問題を初めとする女性や

子ども、高齢者や障がい者などの基本的な人権の侵害という社会問題を解決するため、町民の皆さんと一緒に人権について理解を深め、人権教育や人権啓発を推進しているところです。

このような中で、差別的な言葉が書かれたはがきを送られてきたことは、人権尊重の理念に反するものであり、非常に残念であると考えています。



榊 徳男 議員

今後につきましても、家庭、学校、地域社会などを通して人権尊重の理念に対する理解を深めていくよう努めていきたいと考えています。

福祉社会への取り組みについて

核家族化が進み高齢者が多い時代となり、地域によっては子供の姿が見られないところもあり、場所によっては集落が消えてしまうという懸念もございます。町としてどう考えるのか伺う。福祉とは、すべての人がそこに住んでよかつたと誇れる社会にしなければならぬと思います。将来希望の持てる地域づくりを推進していただきたいと思います。町長の考えを伺う。

答え 町長

神川町でも矢納や住居野地区では、高齢化率が50%を超えた集落となり、社会機能の維持や要支援世帯の増加など、地域生活全体に大きな影響を及ぼし、過疎対策に取り組んできましたが、現在も過疎化は進行しています。しかし、神川町の大自然や貴重な文化財な

どがたくさんあり、都会からのUターンやEターンの誘致を図り、定住者が安心、安定した生活の確立ができる環境整備を推進してまいります。次に福祉社会の取り組みについては、総合計画や策定中の次世代育成支援行動計画に基づき、子育て支援や高齢者及び障害者福祉事業を積極的に推進し、地域福祉の向上に取り組んでまいりたいと思っております。

教育問題の取り組みについて

生徒の体力が低下傾向にあると言われてはいますが、その原因は、また、体力の低下を防ぐ指導等を教育の場では進めているのか伺う。

次に、学力低下と学力格差の問題は、家庭破壊や社会の状況で生じるさまざまな問題が子供たちの将来的な夢や希望を失わせているというのですが、こうした問題が神川町でもあるのか伺う。

次に、読書の推進についてですが、家庭、保育所、幼稚園や学校等どこでも読書に親しんでいただき、成長していくことが必要と思うが、町の考えと取り組みについて伺う。

答え 教育長

児童生徒の体力の実態については、県平均を上回っていますが、各学校とも体力向上に向け、さまざまな取り組みを実施しています。例えばある小学校では、年間を通じて校庭にドッジボールコートを整備し、児童が自主的に積極的に取り組めるような状況をつくっています。

次に、学力低下と学力格差の問題については、全国学力・学習状況調査の結果から、児童生徒の学力が向上しない原因の一つとして、家庭での学習時間が少ないという

生涯学習の推進について

生涯学習の推進について、今後も町を挙げて取り組みをお願いしたいと思いますが、町長の考えを伺う。

教育は人づくりと言われています。地域での人づくりの取り組みについて、町長の考えと町の取り組みについて伺う。

答え 町長

生涯学習推進計画などに基づき、

学習環境の整備や提供、支援を積極的に推進したいと考えています。事業としては、各行政区に生涯学習地域活性化推進委員を配置して、地域に根差した住民の自主的な学習活動の推進、また、地域での学習機会を充実するため、町職員によるまちづくり講座も実施しています。

次に、地域での人材づくりの取り組みについては、指導者やリーダーの存在が不可欠なため、生涯学習地域活性化推進委員会を中心に研修の機会を設け、さらに、スポーツ、芸術、一般教養等各分野で

すぐれた技能や知識を持った方を生涯学習リーダーバンクに登録し、町民の生涯学習活動を支援していきます。





岸 優 議 員

町の非正規職員の処遇について

町では、正規職員採用については5年間不採用、その後は退職者の半数を採用することですが、いつまでこれを続けるのか、伺う。
また、予算削減を目的に業者委託が検討され、給食センターで実施されていますが、町から業者委託される金額は、臨時職員を雇った場合とほとんど変わっていません。変わるのは、委託業者が派遣する従業員の賃金が大幅に下がることです。こうした内容を町は知っているのか、伺う。

このまま町が正規職員を減らし続けるならば、職員の労働過重にもなり、当然の権利である年休もとりづらくなり、年休をとらない職員がよい職員などという間違った評価も生まれてきかねません。本来職員の欠員が生じたときには、正規職員を採用して補充することであり、また、町で非正規職員を雇用する場合には、町の要綱に基づいて直接雇用し、同じ職場で働く他の職員との融和を図れることが重要であります。今後これらを見直すよう強く求めるものであります。町長の見解を伺う。

答え 町長

職員定数の削減に努め、合併後正規職員は20名削減され、業務を執行する上でどうしても人員を必要とする箇所については、非常勤職員及び臨時職員を採用していま

す。また、採用は、非常勤職員取扱要綱、臨時職員の採用及び勤務条件に関する要綱に基づいて行い、賃金や報酬に関しては県内及び近隣市町等の実態や最低賃金を考慮して決定し、採用の際に明示しているところです。
今後も定年退職等で正規職員の人員減が予想される中で、非常勤

職員及び臨時職員の採用につきましては、必要に応じて行っていかなければならないと認識しています。
次に、業務委託については、地

各学校の耐震診断と今後の方針について

町内の学校施設は、平成20年度より耐震診断を実施し、青柳小学校は補強設計されていますが、神川中学校体育館と旧校舎、また、神泉中学校、小学校など順次改修が必要となつてくると思えますが、基本方針を伺う。また、各学校とも災害時の避難場所に指定されていますが、神川町は地震ハザードマップが作成されていません。作成計画について伺う。

答え 町長

ハザードマップは、平成21年度事業として現在作成中です。また、各学校の耐震診断と今後の方針については、平成20年度より国の臨時交付金を活用し、耐震診断を計画的に進めています。詳細につきましては、教育長より答弁させます。

答え 教育長

青柳小学校校舎については、平成22年度中に改修を行い、神川中

域の雇用確保を考慮し、費用面だけで業務委託を行うのではなく、総合的な見地に立ち、業務内容を考慮しながら適切な対応に心がけてまいりたいと考えています。

学校体育館は、大規模な改修を要することが指摘されていますので、平成22年度を準備年度とし、建て替え、補強工事の検討を行ってまいりたいと考えています。
今後の耐震診断予定は、平成21年度事業として、渡瀬小学校体育館及び神川幼稚園園舎を調査しており、平成22年度において神泉中学校の校舎及び体育館の耐震診断を行うことにより、町内学校施設すべてが完了する予定で、今後は有利な補助金の活用と工事の単年度集中を避ける意味から、緊急性の高い建物より順次実施してまいりたいと考えています。

高齢者、障がい者の移送事業について

高齢者や独居老人の移送手段を町では福祉施策として既存の制度運用方法の見直し、経済的で効率的な方法を調査し運用方法等について検討をしたいと言われていますが、どのように改善されたのか伺う。

次に、重度障がい者移送には、タクシーは初乗りのみの助成、ガソリンの助成は、自己所有の自動車のみならずから運転する者であります。大部分の重度障がい者は家族の運転で移動しています。重度の障がい者を持つ方々の苦勞に対して少なくとも燃料費のガソリン代の助成は適用すべきではないでしょうか。また、福祉タクシーも低所得者ではとても利用できるものではありません。町はこうした方々に対する充実した施策をしていただきたいと思えます。町長の見解を伺う。

答え 町長

重度障がい者等の移送事業につきましては、社会福祉協議会に委託し実施している移送サービス事業と、障がい者自立支援法に基づく障がい者移動支援事業、障がい児・障がい者生活サポート事業があります。

自動車等燃料費助成事業、タクシー利用料金助成事業につきまして、も近隣市町との均衡を考慮し、検討を進め、移動支援を必要とす

る障がい者の方の要望にこたえていきたいと考えています。

また、障がいのある方を低料金で移送する福祉有償運送を行っている事業所は町内に2カ所あり、利用を促進していきたいと考えています。

高齢者の移動支援につきまして、生活の利便性向上のため、限られた予算を有効に活用してユニティ循環バスの運行等を含め、事業の見直しと既存の制度の充実を図っていきたいと考えています。

同和对策事業の廃止について

同和对策事業は、33年間の特別措置法が失効して8年になり、町ではこの間同和对策事業を積極的に行い、部落問題は基本的に解決しています。神川町や教育現場に部落差別があると思えますか。町長の見解を伺う。

町長は政策の中で事業仕分けを行うと言っていますが、法終了後8年経過し、逆差別をつくる同和对策事業、同和教育を廃止することを強く求めるものであります。町長の見解を伺う。

答え 町長

現代の複雑多様化した社会には、同和問題をはじめとする女性や子ども、高齢者や障がい者等への人権侵害の例がいまだに見られます。このような基本的人権の侵害という社会問題を解決するため、町民の皆さんと一緒に人権教育や啓発活動を推進しているところです。

人権施策のうち町税の減免措置においては、段階的に減免の内容を見直し、21年度をもって人権対策に関する町税特別措置要綱は廃止されます。また、部落解放推進

団体活動費補助につきまして段階的に減額しています。

今後の対応につきましては、社会情勢や町の財政状況を基本にして事業仕分けにより、引き続き適正化に努めていきたいと考えています。

一般質問の詳細な内容を確認したいときは、議会事務局にて会議録により閲覧することが出来ます。また、7月中旬より、町ホームページで閲覧することも出来ます。

議案審議の結果

三月定例会は、選挙管理委員、同補充員の選挙や平成二十二年一般会計・特別会計の予算、平成二十一年一般会計・特別会計の補正予算、条例の改正、などが審議され、それぞれ可決されました。

人事関係

選挙管理委員に次の四氏を選任
選挙管理委員の選挙が指名推薦で行われ、満場一致で選任されました。

- 飯塚 幸雄氏
神川町大字下阿久原一〇十四番地三
昭和十一年七月十四日生
- 茂木 擴榮氏
神川町大字渡瀬六三三番地一
昭和十四年三月一日生
- 山田 武男氏
神川町大字元阿保五九五番地
昭和十二年十月十七日生
- 木村 芳郎氏
神川町大字新宿二九一番地一
昭和十二年六月十六日生
- 選挙管理委員補充員に次の四氏を選任
選挙管理委員補充員の選挙が指名推薦で行われ、満場一致で選任されました。
- 小川 静男氏
神川町大字関口一三五番地十
昭和十七年二月十日生
- 四方田弘子氏
神川町大字上阿久原五二一番地
昭和十五年九月八日生
- 関根 康永氏
神川町大字渡瀬五二五番地三
昭和二十一年二月十一日生
- 堀内 康男氏
神川町大字二ノ宮九八番地

昭和二十五年一月十日生
教育委員会委員に高澤利藏氏を同意
任期満了となる、教育委員に町長から同意案が提出され、満場一致で同意されました。

神川町大字植竹二九六番地二十
昭和二十二年三月十九日生
教育委員会委員に西村 享氏を同意
任期満了となる、教育委員に町長から同意案が提出され、満場一致で同意されました。

神川町大字熊野堂七十三番地四
昭和三十四年九月二十五日生
監査委員に川野幹夫氏を同意
任期満了となる、監査委員に町長から同意案が提出され、満場一致で同意されました。

神川町大字原新田一〇九八番地二
昭和二十五年十二月二十一日生
公平委員会委員に設楽一男氏を同意
任期満了となる、公平委員会に町長から同意案が提出され、満場一致で同意されました。

神川町大字下阿久原九二九番地
昭和十九年八月二十六日生
公平委員会委員に田村 巖氏を同意
任期満了となる、公平委員会に町長から同意案が提出され、満場一致で同意されました。

神川町大字植竹六四九番地一
昭和十九年七月二十六日生
公平委員会委員に齋藤里江氏を同意
任期満了となる、公平委員会に町長から同意案が提出され、満場一致で同意されました。

神川町大字新里四〇二番地三
昭和三十一年四月三日生
人権擁護委員に関口ゆり子氏を同意
任期満了となる、人権擁護委員候補者に町長から同意案が提出され、満場一致で同意されました。

当初予算関係

詳しくは、広報四月号をご覧ください。
平成二十二年度神川町一般会計予算
予算の総額を歳入歳出それぞれ四十七億六、一〇〇万円と定める。

審議結果 賛成多数 原案可決
平成二十二年度神川町国民健康保険特別会計予算
事業勘定は歳入歳出それぞれ十四億五、一五〇万円、施設勘定は歳入歳出それぞれ一億二、一四七、二千元と定める。

審議結果 全員賛成 原案可決
平成二十二年度神川町老人保健特別会計予算
予算の総額を歳入歳出それぞれ四一七千円と定める。

審議結果 全員賛成 原案可決
平成二十二年度神川町後期高齢者医療特別会計予算
予算の総額を歳入歳出それぞれ一億一、七八〇万円と定める。

審議結果 賛成多数 原案可決
平成二十二年度神川町介護保険特別会計予算
予算の総額を歳入歳出それぞれ七億七、八〇九万八千円と定める。

審議結果 全員賛成 原案可決
平成二十二年度神川町住宅資金貸付事業特別会計予算
予算の総額を歳入歳出それぞれ三四九万八千円と定める。

審議結果 賛成多数 原案可決
平成二十二年度神川町営バス事業特別会計予算
予算の総額を歳入歳出それぞれ一、二五〇万九千円と定める。

審議結果 全員賛成 原案可決
平成二十二年度神川町観光事業特別会計予算
予算の総額を歳入歳出それぞれ一億三、

〇二万三千元と定める。

審議結果 全員賛成 原案可決
平成二十二年度神川町公共下水道事業特別会計予算
予算の総額を歳入歳出それぞれ一億四、五八八万七千円と定める。

審議結果 全員賛成 原案可決
平成二十二年度神川町水道事業会計予算
第三条予算の水道事業収益を三億八、七六万、水道事業費用を三億九、八四万、千円と定め、第四条予算の資本的収入を八、八二万五千元、資本的支出を一億四、一四二万二千元と定める。

審議結果 全員賛成 原案可決

補正予算関係

平成二十一年度神川町一般会計補正予算(第四号)
歳入歳出それぞれ一億六、五二九万九千円を追加し、総額を五億三、〇五九万九千円とする。

歳入に追加された主な項目
国庫支出金 九、六二四万二千元
繰入金 八、三〇一万二千元
町債 一、〇七〇万円

歳出に追加された主な項目
総務費 三、九三六万九千円
民生費 三七二万三千元
衛生費 八四三万七千円
商工費 二、八五万四千元
土木費 七、三三万五千元
消防費 七、三三万五千元
教育費 一億一、〇七八万五千元

審議結果 賛成多数 修正可決
平成二十一年度神川町国民健康保険特別会計補正予算(第三号)

事業勘定
歳入歳出それぞれ三、二五六万一千円を追加し、総額を一億三、五〇七万九千円とする。

<p>○歳入に追加された主な項目</p> <p>国民健康保険税 二五〇万円</p> <p>国庫支出金 二、一四〇万一千円</p> <p>療養給付費交付金 一、〇〇〇万円</p> <p>県支出金 八九二万二千円</p> <p>共同事業交付金</p> <p>繰入金 一、五二六万二千円</p> <p>繰出に追加された主な項目 一、〇〇〇万円</p> <p>保険給付費 二、八九二万九千円</p> <p>共同事業拠出金 三六三万二千円</p> <p>施設助定</p> <p>歳入歳出それぞれ二七〇万一千円を追加し総額を一億三、〇〇七万円とする。</p> <p>○歳入に追加された主な項目</p> <p>繰入金 二七〇万一千円</p> <p>繰出に追加された主な項目</p> <p>基金積立金 二七〇万一千円</p> <p>審議結果 全員賛成 原案可決</p> <p>平成二十一年度神川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第二号)</p> <p>歳入歳出それぞれ三九九万三千円を減額し総額を一億一、三一九万七千円とする。</p> <p>○歳入に追加された主な項目</p> <p>後期高齢者医療保険料</p> <p>繰入金 四八一万六千円</p> <p>繰出に追加された主な項目 八二万三千円</p> <p>後期高齢者医療広域連合納付金 三九九万三千円</p> <p>審議結果 全員賛成 原案可決</p> <p>平成二十一年度神川町介護保険特別会計補正予算(第三号)</p> <p>歳入歳出それぞれ九〇万円を減額し総額を七億七、五六八万九千円とする。</p> <p>○歳入に追加された主な項目</p> <p>保険料 一、三〇万五千円</p> <p>国庫支出金 一一九万一千円</p> <p>支払基金交付金 三七六万一千円</p> <p>県支出金 二〇三万五千円</p> <p>繰入金 七二六万円</p> <p>繰出に追加された主な項目 九〇〇万円</p> <p>保険給付費</p> <p>審議結果 全員賛成 原案可決</p>	<p>平成二十一年度神川町住宅資金貸付事業特別会計補正予算(第二号)</p> <p>歳入歳出それぞれ六万四千円を減額し総額を一、三九〇万六千円とする。</p> <p>○歳入に追加された項目</p> <p>繰入金 一万円</p> <p>諸収入 七万四千円</p> <p>繰出に追加された主な項目 六万四千円</p> <p>公債費</p> <p>審議結果 賛成多数 修正可決</p> <p>平成二十一年度神川町公共下水道事業特別会計補正予算(第四号)</p> <p>歳入歳出それぞれ四〇一万二千円を減額し総額を一億六、四五九万一千円とする。</p> <p>○歳入に追加された主な項目</p> <p>分担金及び負担金 三八万六千円</p> <p>使用料及び手数料 二七七八千円</p> <p>繰入金 四二万円</p> <p>町債 二二〇万円</p> <p>繰出に追加された主な項目 七〇万円</p> <p>総務費 三三二万二千円</p> <p>事業費</p> <p>審議結果 全員賛成 原案可決</p>
--	--

条例など

神川町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例

労働基準法の一部を改正する法律の施行等に伴い、所要の改正を行う。

審議結果 全員賛成 原案可決

神川町議会に議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例

雇用保険法等の一部を改正する法律の施行に伴い、所要の改正を行う。

審議結果 全員賛成 原案可決

神川町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

職員の給与の控除に係る規定を設けるため及び職員の住居手当の改定並びに労働基準法の一部を改正する法律の施行等に伴い所要の改正を行う。

審議結果 全員賛成 原案可決

神川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

高齢者の医療の確保に関する法律施行令の一部改正に伴い、所要の改正を行う。

審議結果 全員賛成 原案可決

神川町乳幼児医療費支給に関する条例の一部を改正する条例

題名を「神川町こども医療費支給に関する条例」に改め、乳幼児医療費の支給対象年齢を満15歳に達する日以降の3月31日まで拡大することに伴い、所要の改正を行う。

審議結果 全員賛成 原案可決

神川町下水道条例の一部を改正する条例

排水設備工事責任技術者に関する試験制度の変更及び特定環境保全公共下水道の区域を流域関連公共下水道の区域と同一の下水道使用料金体系とするため、所要の改正を行う。

審議結果 全員賛成 原案可決

神川町水道事業給水条例の一部を改正する条例

神川町・神楽村合併協定書により所要の改正を行う。

審議結果 全員賛成 原案可決

町道路線の廃止について

路線の組み替え等に伴い、十一本の町道を廃止する。

審議結果 全員賛成 原案可決

町道路線の認定について

路線の組み替えに伴い、十二本の町道を認定する。

審議結果 全員賛成 原案可決

契約関係

契約の締結について

物品購入契約の締結について

契約の目的

神川町立小・中学校学校情報通信技術環境整備機器等購入・設定事業

指名競争入札

七二、四五〇、〇〇〇円

契約の相手方

所在地 埼玉県熊谷市赤城町一の二二氏名又は名称 五幸事務株式会社

代表者職氏名 代表取締役 平岡 清

審議結果 全員賛成 原案可決

議員提案

田村有仁議員に対する辞職勧告決議案について

審議結果 賛成多数 原案可決

建設経済常任委員会

件名 町道二一四四号線の側溝改修について

要旨 既設道路側溝老朽化等により改修工事のお願い

請願者 八日市区長 岡泉 淳

紹介議員 神 徳男議員

審議結果 採択

陳情

建設経済常任委員会

件名 町道の道路拡幅及び舗装について

要旨 町道一三〇三号線及び町道一三九八号線の拡幅及び舗装工事のお願い

陳情者 肥土区長 高橋 八夫

審議結果 採択

請願

陳情

意見書の提出

田村有仁議員に対する 辞職勧告決議

田村有仁議員は、十一月三十日に開かれた全員協議会で多数の良識ある議員が辞職を求めたが、「支持者、責任者に相談して自らの進退を決める」と言い、三ヶ月が経過しているにもかかわらず、いまだにその意志を示さず居直り続けている。法を遵守し、規範を示す立場のある議会議員として断じて許されるものではない。

神川町議会は、平成二十一年十二月三日の第七回定例議会で、事件の重大さを厳粛に受け止め速やかに辞職することを再度勧告する。」と田村有仁議員に二度目

の辞職勧告決議が提案され、可決した。神川町民や町外の多くの人々は、すでに田村有仁議員が辞職したと認識している人たちが数多く存在しているのが現状である。

しかしながら、「あれだけの事件を起こしてなぜ辞職しないのか」、「議会は何をしているのか」等の意見や質問の声が続いていることは誠に遺憾である。神川町議会の辞職勧告決議を無視し、社会的、道義的責任を取らずに居直り続けることは、いっそう神川町議会の品位を傷つけ、町民への信頼を失墜させるなにもでもない。

よって、神川町議会は田村有仁議員に対し、速やかに辞職することを勧告する。上記決議する。

平成二十二年三月四日

神川町議会

核兵器の廃絶と恒久平和実現に関する意見書

唯一の被爆国である我が国にとつて、核兵器廃絶と恒久平和は、国民の心からの願いである。

しかし、核兵器は未だに世界に約2万発以上も存在し、核兵器の脅威から今なお人類は解放されていない。2000年の核拡散防止条約（NPT）再検討会議では、全面的な核兵器廃絶を約束したが、2005年の同会議では実質合意ができず、核軍縮はもとより核不拡散体制そのものが危機的状況に直面している。また、最近の核をめぐる世界の動向は核不拡散体制を大きく揺るがしているところである。

よって、国においては、核兵器の廃絶と恒久平和実現のため、平和市長会議が提唱する2020年までに核兵器の廃絶をめざす「2020ビジョン」を支持し、被爆65周年を迎える2010年に開かれるNPT再検討会議で主導的役割を果たすとともに、実効ある核兵器廃絶の合意がなされるべく、核軍縮・不拡散外交に取り組まれることを要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成二十二年三月十二日

埼玉県児玉郡神川町議会

衆議院議長 横路 孝弘 様
内閣総理大臣 鳩山由紀夫 様
外務大臣 岡田 克也 様

参議院議長 江田 五月 様
総務大臣 原口 一博 様

第二回臨時議会の あらまし

平成二十二年第二回臨時会は、三月十四日（水）に開かれ、第一回定例会において修正議決のあった平成二十一年度補正予算2件が再議（1）に付され、付帯決議（2）を付して修正前の原案が可決されました。

議案審議の概要は次のとおりです。
第十一号議案平成二十一年度神川町一般会計補正予算（第四号）及び第十五号議案平成二十一年度神川町住宅資金貸付事業特別会計補正予算（第二号）再議に対する付帯決議案について（付帯決議は別記のとおり）

審議結果 全員賛成 原案可決
第十一号議案平成二十一年度神川町一般会計補正予算（第四号）再議の件
審議結果 3分の2の同意（3）得られず先の議決（修正可決）を否決
修正前の原案可決 賛成多数
第十五号議案平成二十一年度神川町住宅資金貸付事業特別会計補正予算（第二号）再議の件
審議結果 3分の2の同意（3）得られず先の議決（修正可決）を否決

修正前の原案可決 賛成多数
1 再議：議会で行った議決に対し、異議があるなどとして、長が議案に審議のやり直しを求めること。
2 付帯決議：議案の議決に当たり、その議案に付けられる意見または要望の決議のこと。

3 3分の2以上の同意：地方自治法第176条第1項の規定により、再議に付された修正議決は出席議員の3分の2以上の同意が得られないと成立し

ません。
付帯決議

三月議会において修正議決を行い今回再議に付された、第十一号議案平成二十一年度神川町一般会計補正予算（第四号）及び第十五号議案平成二十一年度神川町住宅資金貸付事業特別会計補正予算（第二号）について下記の付帯決議をする。

記

本件については、住宅資金貸付事業にかかる国からの借入金返済を行うためのものであり、本来は貸付者からの返済により国に償還すべきであるが、貸付金の未回収等が原因で一般会計からの繰入金で対応している状況である。

こうしたことから、議会として大変厳しい財政状況のなかで、平成二十年度においても修正議決を行い議会としての意思表示をしたにもかかわらず地方自治法第一七九条の規定による専決処分を行い執行している。また、平成二十一年度においても前年と同様に一般会計からの繰り入れにより対応しているため、議会として三月十二日定例議会において、一般会計からの繰入金金の修正を行い可決されたものである。

しかし、今回町長から地方自治法第一七六条第一項の規定により再議に付され、我々議会としても、十分熟慮し検討し、町として執行しなければならぬ状況であることも理解し、更に今年度は国からの借入金の中で高利な起債の繰上償還等も含まれているため、町において、今後も引き続き貸付金の回収にさらなる努力をすること、また、滞納者及び保証人等も含めて適正な法的措置を執行するよう要望する。

以上決議する。
平成二十二年三月二十四日

神川町議会

松本文作議長が埼玉県町村議会議長会会長に就任



去る四月五日(月)に埼玉県健康センターで開催された埼玉県町村議会議長会役員会において会長に就任しました。

郡町議会後期
研修会開かれる

去る二月十二日、神川町役場に約四十五名の議員、来賓が集まり、児玉郡町議会議長会主催による議員研修会が開催されました。はじめに、

優良議員(永年在職者)五名が表彰され、神川町では、貫井浩元議員、主山義雄議員、山田義雄議員、内藤満議員が表彰されました。また、講演会での講師は、鯨井武明氏で、「組織は人づくり」のテーマで講演をいただきました。鯨井氏は、本庄市出身で農業関係の多くの要職を歴任後、本庄市消防団長も歴任され、現在は埼玉ひびきの農業協同組合代表理事組合長として活躍されています。講演の中では、身近な話題を分かりやすく取り上げ、ユーモアたっぷりな語られました。また、「聴く心と聞く心の違い」「五友(新友、親友、信

友、真友、心友)」の説明や「人づくりの基本と親の役割」「素直な心で生活することの大切さ」など興味深く聞くことができました。最後に、自分の想いを人生の柱として、それを実践することが重要であると結ばれました。自分が今「何をすべきか」受講者一人一人が考えさせられる研修会でした。



議会日誌

1月



- 4日 定例全員協議会
- 10日 成人式
- 13日 県と市町村議会議長との新年懇談会
- 17日 駅伝競争大会
- 18日 部落解放同盟児玉郡市協議会旗開き
- 19日 青柳保育所地域交流会
- 20日 丹荘保育所地域交流会
- 21日 児玉郡町村会賀詞交歓会
- 22日 児玉工業団地賀詞交歓会

2月



- 2日 定例全員協議会
- 7日 響の里・芸能年賀会
- 10日 県町村議会議長会研修会(さいたま市)
- 12日 児玉郡議会議員後期研修会
- 16日 神川町商工会・本庄法人会神川地区賀詞交歓会
- 18日 町国保運営協議会

3月



- 23日 部落解放同盟丹荘支部旗開き
- 24日 部落解放同盟青柳支部旗開き
- 25日 議会運営委員会
- 1日 県町村議会議長会定期総会
- 2日 定例全員協議会
- 4日 第1回定例議会(開会、一般質問)
- 5日 第1回定例議会(当初予算説明)
- 8日 建設経済常任委員会・協議会
- 9日 文教厚生常任委員会協議会
- 10日 総務常任委員会・協議会
- 11日 第1回定例議会(当初予算等質疑討論採決)
- 12日 第1回定例議会(補正予算等質疑討論採決)
- 13日 神川中学校、神泉中学校卒業式
- 15日 神川町社会福祉協議会理事会
- 16日 区長会
- 24日 丹荘・青柳・渡瀬・神泉小学校卒業式・第二回臨時会
- 25日 神川幼稚園卒園式
- 26日 広域圏協議会
- 29日 丹荘保育所・青柳保育所卒園式